

**日本骨髄バンクの現状（2001年12月末）詳細は別添一覧を参照下さい。**

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,103	2,675	148,030	181,883
患者登録者数	116	116	1,666	11,856
骨髄移植例数	89	39	-	3,817

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

**① 2001年の年間移植件数734例、ドナー登録者数は2万2239人**

日本骨髄バンクを介した非血縁者間移植は、昨年1年間で、734例（前年比5.0%増）が実施され、累計で3817件に達しました。98年453件（前年比13.8%増）、99年555件（同22.5%増）、2000年699件（同25.9%増）と移植例数は順調に増加してきました。昨年は1カ月の移植例数が80件を超えた月が2回もありました。昨年のドナー登録者は2万2239人（前年比46.0%増）でした。一方、取消者数が8221人と登録者の37.0%（前年は47.8%）あり、実質増加人数は1万4018人となりました。しかし、登録者数は15カ月連続で前年同月を上回っており、昨年8月以降の登録者数は5カ月連続で毎月2000人を超えるなど、確実に好転の兆しがみえてきています。また、昨年1年間で登録会は602回開催（うち献血併行392回）、9657人（献血併行型登録会4914人）の方にご登録をいただきました。登録会における登録者が全体の43.4%と高い割合となりました。関係者各位のご尽力の賜物と心より感謝申し上げます。今年も、ドナー登録者数30万人を目標に、一人でも多くの患者さんの生きるチャンスを広げるため、なお一層、普及啓発、ドナー登録推進活動に積極的に取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

**② 公開シンポジウム会場で「対面」発生。実施について審議継続**

12月21日（金）、札幌で開催された日本造血細胞移植学会総会の公開シンポジウム会場において、骨髄バンクを介して移植を受けられた方と、その患者さんの骨髄提供者であると発言された方二人が対面しました。当財団ではドナーとレシピエントの組み合わせについては公表しておらず、このお二人が実際のドナーとレシピエントの組み合わせであるかについて論評はいたしません。また、骨髄バンクは匿名のドナーが患者を支えるという考えに立っているため「対面」を認めておらず、ドナーとレシピエントの方には、採取日、移植日など組み合わせを特定できるような情報を公表しないようお願いしております。一方、当財団では対面の是非については長期間にわたって議論を行ってきました。現在、これまでの議論を受けて、調査研究としての対面の実施を検討しているところです。

### 3 公共広告機構（AC）の新キャンペーン放映開始。テーマは「手紙」

公共広告機構（AC）の骨髓バンクキャンペーンの新シリーズの放送が始まりました。今回のテーマは、移植を受けられた方からドナーの方への「手紙」。会うことはできないドナーへの感謝の気持ちと近況を綴った「手紙」が朗読され、「あのときの電話がなかったらこの手紙はなかったかもしれません」と、ドナー登録への第一歩となるフリーダイヤルへの電話を呼びかけています。ごく当たり前の日常がそこで繰り広げられているような市街地の光景と、淡々としたナレーションが、かえって余韻を残す作品となりました。若い世代の共感をよび、ドナー登録の増加につながることが期待されます。

### 4 12月の登録会

12月のドナー登録者数は2675人で、取消者数は695人、実質増加人数は1980人という実績でした。登録会は123回実施され（うち献血併行型72回）、合計1816人（同924人）にご登録をいただきました。都道府県別の登録会開催数は、愛知13回、東京12回、沖縄9回、秋田8回、兵庫7回、長野5回、北海道、千葉、栃木、山口、三重4回、福島、静岡、広島、茨城、岐阜、鹿児島、石川3回、新潟、福岡、岩手、鳥取2回、神奈川、岡山、埼玉、大阪、山形、宮城、京都、愛媛、大分、佐賀、山梨、群馬、富山、宮崎、徳島、和歌山、福井、島根、熊本、青森が1回でした。

### 5 臨時理事会開催。基本財団取り崩しにともなう回答文書について審議

1月11日（金）、当財団臨時理事会が弘済会館（東京・麹町）で開催されました。財団基本財産取り崩し申請に伴う厚生労働省からの質問等に対する対応について審議されました。

## ⑥ コーディネーター研修会開催。スキルアップに確かな手ごたえ

12月21日(金)、22日(土)と札幌市で、第7回コーディネーターブラッシュアップ研修会が開催され、全国のコーディネーター約130人が一堂に会しました。1日目は事務局やコーディネーター委員会・ドナー安全委員会からの報告、コーディネーター自身からの実体験報告、外部講師を招いての講演、そして造血細胞移植学会公開シンポジウムへの参加。2日目は事例検討を中心に活発なグループ討議が行われ、さまざまな問題点やコーディネーターのあり方などを確認しあいました。業務に対するスキルアップはもちろん、日頃は個人単位で活動するコーディネーターの皆さんの連帯感を深め、明日へのコーディネーターの糧となる貴重な時間となりました。コーディネーターの一層の活躍を期待するとともに、ご協力いただきました関係者の皆さまにお礼申し上げます。

## ⑦ 平成14年度「説明員」更新の手続き開始。新規応募も常時受付中

骨髄バンクドナー登録会で受付、説明、確認業務を担当していただいている当財団認定の説明員は現在247人。このうち平成12年度に初回認定された60人の方について更新の手続きが必要となり、その受付がはじまりました。更新申請書類に、参加した登録会(1回以上)の日付と会場名他必要事項を記入し、提出をお願いします。なお平成13年度に認定を受けた方は自動的に次年度は更新されますので、今回は手続きの必要はありません。3月中に平成14年度の委嘱状をお送りします。

## ⑧ ドナーズネット(<http://www.donorsnet.net>)、野田聖子衆議院議員が登場予定

次回の著名人インタビュー(1月21日更新予定)は骨髄バンク議員連盟会長の野田聖子衆議院議員。自らもドナー登録者である野田議員に、骨髄バンク事業に対する思いや活動についてお話をいただきます。骨髄異形症候群で98年に移植を受けた高橋めぐみさんと、妻の白血病をきっかけにドナー登録した西山晃央さん、それぞれの体験談も掲載中です。

## 国際協力事業の状況(1997年4月～2001年12月末)、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	予備検索555件(適合385件) 登録311件 移植82件
米国 日本	予備照会1175件(適合81件) 登録109件 骨髄提供2件
日本 台湾	予備検索393件(適合80件) 登録132件 移植16件(12月1件)
台湾 日本	予備照会1件(適合0件) 正式登録1件 骨髄提供の実績なし
日本 韓国	正式登録123件(適合19件) 移植7件(10月1件、12月1件)
韓国 日本	正式登録307件(適合121件) 骨髄提供41件(10月2件、12月1件)
その他の国 日本	正式登録201件、提供累計9件(香港5件、英国2件、オランダ1件、オーストラリア1件)

\* 4半期ごとに掲載です。

## その他

- ・骨髄バンクを介して、2回以上骨髄提供された方 41人
- ・DLT(ドナーリンパ球輸注。DLIとも呼ばれる)療法の実施件数 25件